



じょうもんまな  
縄文学びのガイド

きたじょうもんまな  
北の縄文を学ぼう!

きたじょうもん  
ビデオクリップ②～北の縄文のはじまり～



ビデオクリップ 解説 (大平山元遺跡について) 1

ビデオクリップ 解説 (大平山元遺跡について) 2

ビデオクリップ 解説 (放射性炭素年代測定法) 3

ビデオクリップ②について調べられるところ 4

ワークシート 5

ワークシート (答え) 6

指導者用ビデオクリップ解説 7・8

見たいページのタイトルをクリックするとそのページにジャンプできるよ!





# ビデオクリップ 解説 (大平山元遺跡について)

かいせつ おおたいやまもと いせき



おおたいやまもと いせき ばしょ  
大平山元遺跡の場所



ふるいせき さいごのじき せき ぶつ とうき へん おおたいやまもと いせき もとが はまち  
旧石器時代終末期の石器と無文土器片【大平山元遺跡 (外ヶ浜町)】

おおたいやまもと いせき きゅうせきじたい おわ とくちょう せっき いっしょ どき はっけん  
大平山元遺跡では、旧石器時代の終わりごろの特徴をもつ石器と一緒に、土器のかけらが発見  
されました。この土器のかけらを調べた結果、日本列島の周辺地域の中で最も古い土器だという  
ことがわかっています。

このころがちょうど旧石器時代から縄文時代へ移り変わるころだったと考えられ、土器がどの  
ように作られ始め、いつ縄文時代が始まったのかが明らかになるかもしれない重要な遺跡です。





# ビデオクリップ

## 解説 (大平山元遺跡について)



中学生が発見した石斧



見つかった土器片

大平山元遺跡は、1971年（昭和46年）に中学生が石斧を拾ったことをきっかけにして発見された遺跡です。考古学の研究者が発掘調査をしたところ、さまざまな土器や石器が見つかりました。この石斧以外にもさまざまな旧石器時代の石器が発見されています。

石器とともに発見された土器片は、どれも小さくて元々どのような形の土器かはわかりませんが、縄による文様や貼り付けなどの装飾がない無文のものです。土器の出現は、定住生活の開始を示す重要な証拠であり、この土器片は土器がどのように作られはじめ、いつ縄文時代が始まったかを明らかにすることができるもののひとつと考えられています。





# ビデオクリップ

## 解説 (放射性炭素年代測定法)



年代測定に用いる装置



年代測定ができるもの (例)

出土した土器の古さを調べる方法として、「放射性炭素年代測定法」というものがあります。これは、調べたいものに含まれる「炭素」という元素の性質を利用して、物の古さを測るものです。木・炭・紙などには、炭素（元素記号：C）という元素が含まれています。炭素は、さらに3種類に分けられ、そのうち<sup>14</sup>Cという炭素の含まれている割合を測定することで、そのものが存在していた年代を測定することができます（<sup>14</sup>C年代測定法）。

大平山元遺跡で発見された無文土器片は、「放射性炭素年代測定法」による測定で、16,500年前の縄文土器と確定されました。





## ビデオクリップ②について調べられるところ



### ●大山ふるさと資料館

住所 東津軽郡外ヶ浜町字蟹田大平沢辺34-3

電話 0174-22-2577

公式HP [大山ふるさと資料館](#)

開館時間 9:00~16:30

休館日 月曜日（祝の場合は翌日）

入館料 無料

ホームページで  
詳しく調べて  
みよう！



●おすすめのページ  
「大平山元遺跡」

<https://jomon-japan.jp/kids/learn/mag/odai-vamamoto/>



# ワークシート

ねん 年      くみ 組      なまえ 名前

きた じょうもん まな  
北の縄文を学ぼう!

きた じょうもん  
ビデオクリップ②～北の縄文のはじまり～

- ① 「おおだいやまもといせき」を漢字で書いてみよう。

おお      だい      やま      もと      い      せき

				遺	跡
--	--	--	--	---	---



- ② 「おおだいやまもといせき」についてわかったことをメモしよう。



# ワークシート

こた  
答え

ねん ぐみ なまえ  
年 組 名前

きた じょうもん まな  
北の縄文を学ぼう!

きた じょうもん  
ビデオクリップ②～北の縄文のはじまり～

- ① 「おおだいやまもといせき」を漢字で書いてみよう。

おお だい やま もと い せき

大	平	山	元	遺	跡
---	---	---	---	---	---



- ② 「おおだいやまもといせき」についてわかったことをメモしよう。

- ・縄文時代の前の時代である旧石器時代と同じような石器と一緒に、土器のかけらが発見された。
- ・この土器片は北東アジア最古の土器である。
- ・土器がどのように作られ始め、いつ縄文時代が始まったのかが明らかになるかもしれない重要な遺跡である。



# 指導者用 | ビデオクリップ解説 (世界史の中の縄文時代)



日本の歴史では、採集・漁労・狩猟を生業に定住が営まれた時期を「縄文時代」と呼んでいます。移動生活を営んだ旧石器時代に続き、本格的な稲作農耕がはじまる弥生時代の前に位置付けられています。縄文時代は日本独特の自体区分であり、世界史では旧石器時代から新石器時代、青銅器時代の一部に相当します。

出典：縄文遺跡群世界遺産本部、『世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群』



道内最古の縄文土器 (大正3遺跡、佐藤雅彦氏撮影)

土器は食べ物を煮炊きする鍋として使われましたが、土器に付着したおこげの成分から、煮炊きされた内容を調べる研究が行われています。

北海道内最古の縄文土器である帯広市大正3遺跡出土資料の分析からは、魚を煮炊きした痕跡が見つかっており、サケを調理した可能性が指摘されています。